

## 政務活動費使用計画書

令和5年3月27日

久慈市議会議長 様

会派名 政風会

代表者名 小柳正人



政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、次のとおり提出します。

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和5年3月29日				
実施場所	岩手県上閉伊郡大槌町～陸前高田市				
参加者名	政風会：小柳正人、小倉利之、佐々木栄幸、清水崇文 (日本共産党久慈市議団：城内仲悦、橋上洋子) ※日本共産党久慈市議団と合同実施				
予算額	100,400円 ( 対象経費 150,600×4/6 )				
内 容	<p>●大槌町 (ジビエ) 近年、鳥獣被害に悩まされている自治体は少なくない。当市においてもシカやイノシシによる作物被害は増加傾向にあり、捕獲頭数も昨年度実績で200頭を超えるといわれている。一方で、それを地場産業としてジビエに取り組んでいる自治体もある。ジビエに関する政策課題は今や喫緊の課題であり、諸課題を解決しジビエの処理場、加工施設を官民で取り組んでいる先進地大槌を視察し、農作物を鳥獣被害から守ること、ジビエとして地元の産業としての位置づけするため県内の先進地大槌町の視察を行う。</p> <p>●陸前高田市 (日本海溝千島海溝地震に備える伝承活動) 東日本大震災から12年が過ぎた。奇跡の一本松の根っこも東京四谷の紀尾井清堂から戻ってきた。これから東日本大震災を知らない世代に体験した我々が伝承していかなければならない。当市にはその伝承施設がないことと、想定される千島海溝日本海溝地震への備えとして東日本大震災津波伝承館と道の駅高田松原にある一本松モニュメント (旧高田ユースホテル) を視察し久慈市の防災に生かすことを目的に視察を行う。</p>				
行 程	別紙のとおり				

作成 令和04年3月22日

# 御旅程表

参加人数 6 名

様

お客様名：政風会

旅行先：大槌・陸前高田・花巻

旅行期間：令和5年 3月 29日 (水)

株式会社 三河交通観光  
 久慈市中央2-13  
 岩手県知事登録第3-119号  
 旅行取扱管理者 三河えり子  
 電話53-6161-090-7837-3722

日次	月日	行程	宿泊施設
1		見学 10:00 ~ 11:30 大槌シビエ Momij 11:35 9:50 8:10 久慈市役所 14:35 東日本大震災津波伝承館 15:35 道の駅高田松原 16:50 道の駅やまだ 17:05 久慈市役所 18:30 8:10 久慈市役所 12:40 かき小屋広田湾 13:20 陸前高田市立博物館 14:30	

朝食・・・12:40～ かき小屋広田湾 かき清喫御膳(蒸しかき5個、かきご飯、かき小鉢、小鉢、香の物 1452円)

マスク着用で参加願います。 走行中は席を立たないようご協力お願いいたします。 バスからの乗降時には、手指の消毒にご協力お願いいたします。

